

平成27年度 阿賀野市国語部 活動報告

部長 関山久美子

1 研究主題

「読み取る力をつけるための指導の工夫」

2 研究の概要

4月21日（火）第1回国語部会 組織の編成・役割の決定、事業計画の作成

6月10日（水）第2回国語部会 講演会

講演テーマ「子どもと本をつなぐ～ブックトークを中心に～」

講師 山寄 美佳 様（阿賀野市立図書館係長）

11月24日（火）第3回国語部会 レポート研修会

来年度の組織編成



3 研究の実際

（1） 第2回国語部会（講演会） 10名参加

阿賀野市立図書館の山寄美佳様より「子どもと本をつなぐ～ブックトークを中心に～」と題してご講演いただいた。

＜ご講演から＞

読書が育てるものは、言語力・表現力・想像力・人生を楽しむ力等様々あるが、自分の思いを伝え、相手の考えを理解するコミュニケーション能力を育てる点でも、大変有効であることを最初に確認した。

子どもと本をつなぐ根本は、本は楽しいと感じる体験を大切にする。そのためには、子どもと本の出会いをつくる「大人」の存在が必要であることをお話しいただいた。

市立図書館での具体的な取組としては、三つの柱があり、内容は下記のとおりである。

① 耳からの読書（目からの読書につなぐもの）

・読み聞かせ、ストーリーテリング、パネルシアター、ブラックシアター

② 本への興味を引き出すもの

・ブックトーク、ブックリストの作成、レファレンスサービス（調査相談）

③ 保護者への啓発活動

・ブックスタート（4か月健診時）

最後に「やってみよう！ブックトーク」と題し、ブックトークのやり方を示しながらの実践を見せていただいた。高学年を対象に「読んでおいしい！食べておいしい！」というテーマで行われ、本から離れてしまいがちな年代の児童を十分に引き付ける内容であった。

（2） 第3回国語部会（レポート研修） 10名参加

教室で日常的に行っている「授業の小技」をレポートで持ち寄る研修会を行った。実際の内容は、授業の実践を含めて、読書、音読、作文指導など多岐にわたった。持ち寄ったレポートは、表紙を付け、一冊の冊子にまとめる形で配付した。「すぐやってみよう。」という声も聞かれ、好評であった。

4 成果と課題

読み取る力を付けるために、ブックトークなどによる読書への誘いが大切であると改めて感じた。専門の方のお話を聞く機会は、実践力向上に有効であった。第3回国語部会では、「授業の小技レポート研修」を行った。今後も、各部員がもっている有効な指導法を交換できる場を設ける。